



日本内分泌学会 男女共同参画推進委員会 (JES We Can) 中国支部のご紹介

中国支部では、主に、中国支部学術集会での JES We Can 企画の担当を中心に、それぞれの診療分野で内分泌を専門とした女性医師として診療・研究・教育を担いながら、教育機関での女性医師としての先輩として後輩医師や学生の支援を行っています。

これまでも、島根県立中央病院 産婦人科 栗岡裕子 先生、島根大学医学部内科学講座内科学第一 山内美香 先生が JES We Can 中国支部の初期メンバーとして、多様な医師を育成する環境を整えてこられました。その後、2015 年 9 月～岡山大学医歯薬学総合研究科 三好智子 が加わり、2020 年～鳥取大学医学部周産期・小児医学分野 鞍嶋有紀、2020 年～島根大学医学部産科婦人科 折出亜希 が着任しました。

岡山大学では、プロフェッショナリズム・行動科学という授業の中で、3 年生では多様な卒業生のキャリアの紹介を、5 年生では男女共同参画が継続して行える職場についてのディスカッションを行うなど、医学生からキャリア教育を行っています。また、卒後臨床研修センターでは、研修医のメンタリング制度、指導医のためのリーダーシップ講座を行うなど、研修医・指導医のサポート活動を通して、本委員会の委員 三好智子は 2019 年に、岡山県医師会 天晴れジョイボスアワード奨励賞を受賞しました。

2020 年度より鞍嶋有紀 (鳥取大学医学部周産期・小児医学分野講師、2021 年 4 月より島根大学医学部小児科准教授) が本委員会の委員となり、第 18 回男女共同参画学協会連絡会に委員として参加し、鳥取大学医学部ワークライフバランスセンターのアドバイザリーボードにおいて、男女共同参画学協会連絡会の感想と自身の意見について述べました。2021 年 4 月からは島根大学ダイバーシティ推進室とも連携をとり、本委員として、活動を継続したいと考えています。

栗岡裕子先生が退任されたため、2020 年度より婦人科 折出亜希が本委員会の委員となりました。2020 年には島根大学女性研究リーダー育成支援事業として、島根県立大学の先生方とともに研究を行いました。本年度から当教室の医局長になり、若手の先生のワークライフバランスとキャリアアップについて日々頭を悩ませています。

JES We Can 企画では、若手からベテランの医師にも様々な視点からの教育的な企画を、中国支部学術集会と共同で開催しています(表1)。2017 年以降は、JES We Can 支部活動報告をご覧ください。





表1.

第 12 回 中国支部学術集会、2012/3/3(土) 講演: 専門医に学ぶ甲状腺疾患診療 講師: 横田 敏彦(倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科) 座長: 山内 美香(島根大学医学部内科学講座内科学第一)
第 13 回 中国支部学術集会、2013/3/2(土) 講演: 「成長障害に解明—IFG1 受容体異常症を中心に」 講師: 鞆嶋 有紀(鳥取大学医学部周産期・小児医学) 座長: 大倉 裕子(鳥取大学島根大学医学部内科学講座内科学第一)
第 14 回 中国支部学術集会、2013/11/30(土) 講演: 「クッシング病の臨床と研究」 講師: 大塚 文男(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科総合内科学) 座長: 山内 美香(島根大学医学部内科学講座内科学第一)
第 15 回 中国支部学術集会、2014/8/30(土) 講演: 「女性の生殖機能におけるメラトニンの多様な作用」 講師: 田村 博史(山口大学医学部産婦人科) 座長: 栗岡 裕子(島根県立中央病院)
第 16 回 中国支部学術集会、2015/8/29(土) 講演: 「診断・治療方針に苦慮した副腎疾患の症例」 講師: 三宅 仁美(島根大学医学部内科学講座内科学第一) 講演: 「副腎偶発腫のマネージメント」 講師: 宗 友厚(川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学) 座長: 岡崎 恭子(日本鋼管福山病院 内科)、多田 裕子(松江市立病院 糖尿病・内分泌内科)
第 17 回中国支部学術集会、2016 年 8 月 27 日(土) 「甲状腺超音波&穿刺吸引細胞診 ハンズオンセミナー」 講演: 「甲状腺超音波検査の基本的操作方法および細胞診の手技、適応、合併症」 講師: 野津 雅和(島根大学医学部内科学講座内科学第一) 座長: 三好 智子(岡山大学医療教育統合開発センター) 穿刺指導: 交差法 野津 雅和(島根大学医学部内科学講座内科学第一) 平面法 溝尾 妙子(渡辺病院外科/岡山大学病院乳腺内分泌外科) 平面法・ガイドあり・ピストルあり 天野 綾(倉敷中央病院内分泌代謝・リウマチ内科)

